

「全国信用金庫大会」における御室全信協会長の挨拶要旨

日 時：2022年6月24日（金）

15時00分～

場 所：経団連会館

2階 国際会議場

（ゴールドルーム）

本日ここに、「全国信用金庫大会」を開催いたしましたところ、全国から、多数の関係者の皆様のご出席をいただきまして、かくも盛大に開催することができましたことは、私ども業界にとりまして、誠に意義深く、喜びにたえない次第でございます。

とくに本日は、公務ご多忙の中、岸田内閣総理大臣をはじめ、鈴木金融担当大臣、萩生田経済産業大臣、黒田日本銀行総裁、三村日本商工会議所会頭、ならびに来賓各位のご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から、私ども信用金庫に対し、深いご理解と、ご支援・ご協力を賜りまして、全国の信用金庫を代表いたしまして、心より厚くお礼を申し上げます。

本日は、私ども信用金庫業界の当面の諸課題について、率直に所見を述べさせていただくとともに、ご来賓の皆様から、ご挨拶を賜りまして、私ども信用金庫の今後の経営の指針とさせていただきますと存じますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それではこの機会に、業界が取り組むべき課題につきまして、若干、申し述べさせていただきますと存じます。

1点目は「ポストコロナに向けた中小企業への支援力の強化」です。

本年は、新型コロナウイルスの影響に加え、ウクライナ情勢や急速な円安の進行による燃料や原材料価格の高騰が重なったことにより、現下の中小企業の経営環境は、不確実性が非常に高まっています。中小企業経営者は難しい舵取りを強いられ、この先の展望がなかなか描けないというのが実感ではないかと思っております。

こうした中で、政府におかれましては、新型コロナウイルスをはじめとする中小企

業経営への影響に対して、様々な支援策を迅速に実施いただいております、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

私ども信用金庫といたしましても、取引先中小企業が今後の国内外の経済情勢の急激な変化にも対応できるように、その資金繰りをしっかりと支え、今後訪れるであろうポストコロナの局面も見据えて、取引先中小企業を成長軌道にシフトチェンジしていくことが重要な使命と考えております。

そのために、新分野展開、事業再編といった事業再構築の取組みや、売上回復のための販路拡大支援、経営改善支援をさらに強化することで、地域の持続的な発展に貢献していく所存です。

取引先中小企業が厳しい時代の変化の流れに取り残されることがないように、官民一体となって地域の創生・活性化を図って参りたいと考えておりますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

2点目は、「経営管理態勢の充実・強化」です。

信用金庫が地域のお客さまから信頼を得るためには、経営管理態勢をより一層強化し、各種リスクへの対応力を高めていく必要があります。国際的に重要課題となっているマネロン・テロ資金供与対策の強化もその一つであり、本年はより一層の取組みを図ることが求められます。

特に、お客さまに対して住所や取引目的などを改めて確認する、継続的顧客管理の取組みについては、お客さまのご理解とご協力が不可欠であり、我々自身、インターネットにおける動画配信を含め、鋭意取り組んできておりますが、まだまだ十分とはいえ、今後一層の努力が必要と考えております。

この点に関しては、政府におかれても、メディアを利用した政府広報に着手いただいておりますが、今後とも国民のさらなる理解・協力を促すための情報発信に積極的にお取り組みいただきますようお願い申し上げます。

3点目は、「金融業務のデジタル化への対応」です。

社会のデジタル化が急速に進む中、信用金庫においても、地域のお客さまにデジタル技術を活用した利便性の高いサービスを提供するとともに、デジタル化による内部

事務の効率化も進めていかなければなりません。

また、デジタル化の進展は、膨大なデータを生み出しますが、これを集約して分析することで、ビジネスや社会に有用な知見を得るといった取組みも重要です。

業界においても、多種多様なデータの集約・活用により、お客さまの課題解決や信用金庫の業務の効率化に向けた新たな展開が期待できますので、既にいくつかの取組みに着手しており、今後、お客さまへの支援や地域の活性化のために活用していきたいと考えております。

4点目は、「業界総合力の発揮」についてです。

ポストコロナを見据え、地域とともに信用金庫が生き抜くためには、只今申し上げた金融業務のデジタル化に向けた対応を含め、収益力を高め、経営基盤を強化していくための多様な取組みが必要であります。

そして、こうした取組みを着実に実行していくためには相応の投資やノウハウが求められます。個別信用金庫の取組み努力が必須であることは言うまでもありませんが、加えて、全信協、信金中金、SSC、共同センター、さらには各地区の情報サービス会社や各地区協会が引き続き緊密に連絡あるいは連携し、経営資源を持ち寄ることで、より大きな付加価値を産み出していくことが極めて重要であります。私どもは総合力の発揮による業界の課題解決を目指してまいります。

以上、いろいろ申し述べましたが、地域に根差した協同組織金融機関である私ども信用金庫には、地域の創生に積極的な役割を發揮していくことが求められております。

私ども信用金庫は心をひとつにして、『この街とともに』を合言葉に、協同組織の経営理念の実践に努め、取引先中小企業や地域社会の持続的な発展をめざして参る所存です。

本日、ご臨席の関係各位におかれましては、私ども信用金庫の真摯な取組みに対し、引き続きご理解をいただきますとともに、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

以 上